



**お元気ですか！**  
**志村 たかよし**です

第774号 2016年1月24日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
 電話 3546-5563  
 FAX 3546-9570

## 東京都 2016年度予算原案

### 編成方針から「福祉充実・生活の質の向上」が外される

#### 「都市機能の強化」に力そそぐ予算

1月15日、東京都は16年度予算原案を発表しました。

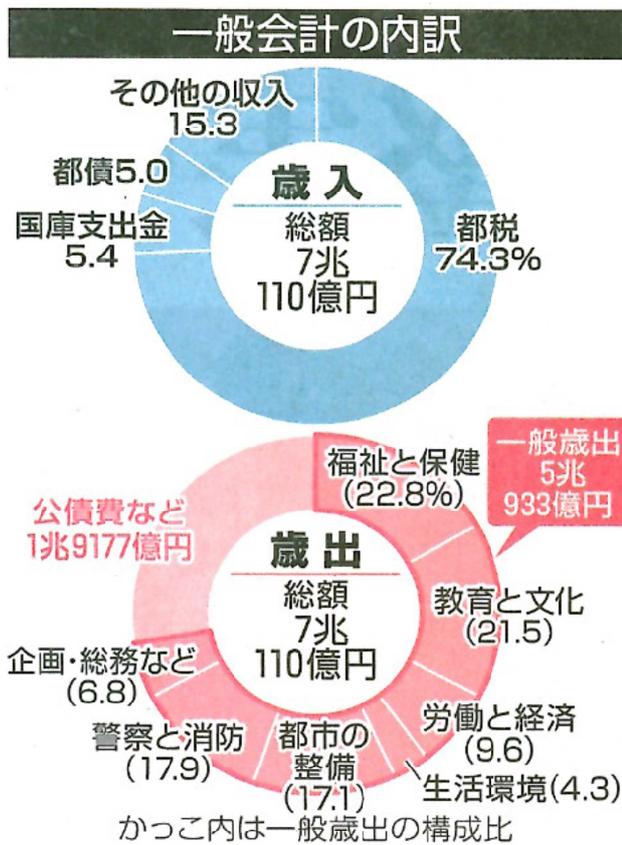
一般会計の予算規模は、前年度比0・8%増の7兆110億円。

一般歳出は、5兆933億円

(前年度比4・8%増)

となっております。

予算編成の「方針」からは、今年度（15年度）の予算編成で強調された「都民福祉の充実による生活の質の向上」という立場が外されました。



東京新聞1/16付けより

その一方で、「『世界一の都市』の実現に向けた取組を加速化・深化させ、力強く前進させる予算」と位置づけ、「東京の将来像の実現に向けて積極果敢な施策展開を図る」としています。

その中身は、都市機能の強化や幹線道路建設などの「投資」に重点がおかれています。

1269億円

#### 東京五輪準備に921億円

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの準備のために621億円を計上しています。

・競技施設等の整備

532億円

・開催準備

90億円

また、五輪を契機に更なる発展へと導く取り組みを推進するため543億円を計上しています。

・障害者スポーツの振興

58億円

・水素社会の実現

45億円  
 など

・緊急輸送道路の機能確保

354億円

・鉄道の連続立体交差化の推進

339億円

・東京港の整備

289億円

・観光都市の実現

212億円  
 など

## きわめて不十分な福祉予算

福祉関係の予算は増えていますが、そのほとんどは、国の社会保障制度による「義務的経費」が高齢者人口の増加などにもなっており増えるものにはなりません。

保育園整備のための区市町村への支援や特別養護老人ホームの整備補助の予算は増額されましたが、待機児童・待機者解消のためには、さらなる増設が必要です。

また、保育園や特養ホームの整備促進のためにも、保育士や介護士などの給与の大幅な改善をはじめ、人材の養成・確保・定着対策の拡充の取り組みにもっと力を入れるべきです。

介護職員宿舍借り上げ支援事業の実施や若年性認知症総合支援センター



の多摩地域への設置など、福祉分野でいくつかの前進がありました。

また、児童相談所の41名増員をはじめ、都立病院の救急医療（東京ER）体制強化の5名増、8台の救急車増強のための人員増89名などが行われましたが、都民のくらし・福祉を守る施策はもっと充実させる必要があります。

### 子育て環境の充実

478億円

### 障害者に対する生活支援

423億円

### 高齢者の暮らしへの支援

411億円

### 医療施設の整備

377億円

### 福祉・医療人材の確保・定着

338億円

など

## 軽視される耐震化対策

防災対策には、3452億円を計上していますが、道路建設などに力



が注がれる一方、「あらゆる対策の大前提」とされる住宅の耐震化対策は軽視されています。

今でも不十分な「住宅耐震化助成」が6割も減額されるなど、耐震化対策は軒並み減らされています。

## ビジネス環境の整備と

### 産業力の強化に3787億円

世界の活力を呼び込む国際経済都市を実現するためのビジネス環境の整備と産業力の強化に3787億円を投入します。

### 豊洲市場の開場

109億円

成長産業の育成・強化とグローバルビジネスの活性化

93億円

など

## 23区への交付金は0.1%増

都と23区の「財政調整制度」に基づく23区への16年度の「交付金」の総額は、前年度比0.1%増の9756億円となります。

「財政調整制度」とは、中央区など23区の固定資産税や法人住民税、特別土地保有税を東京都が徴収し、このうち、55%分を「交付金」にして各区の財政状況に応じて配分するものです。

配分額は8月に決定する予定です。

財政規模・一般歳出（当初予算）の推移 都資料

